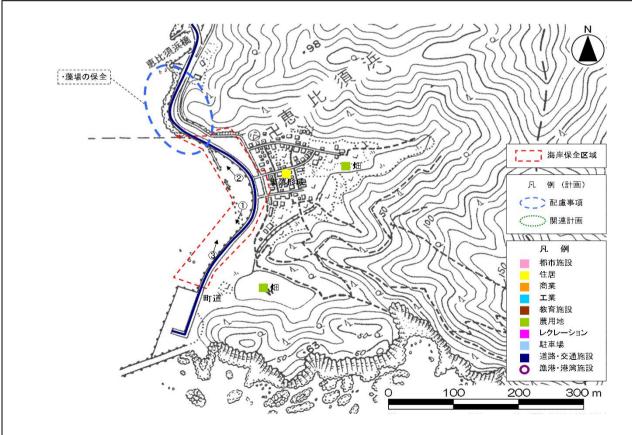
No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
58-1	海部灘	日和佐港海岸	恵比須浜地区	国土 (港湾)	美波町	388	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全に配慮した 施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目			現況特性			
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	С	侵食対策	ランク	ı
背後地ランク	С	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全	全度は特に問題ない。	,			
海岸保全区域の 概況		前面に新しく臨港道 人家がある。	路と道路護	岸が整備さ	れている。	。道路の
環境項目			現況特性			
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	漁港護岸			
自然関係法令	国定公園	(海上:普通)				
水質環境基準 (類型)	A	海岸漂着物対策 重点区域	_			
海域環境	藻場	→ 干潟	_	サンゴ	-	_
配慮すべき資源	自然関係法	去令、藻場				
利用項目			現況特性			
利用配慮ランク	維持	幹線道路 からの距離	500m以内			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプ ローチ	良好					
海岸利用状況	なし	なし				
地域からの要請	_					
		計画概要				
計画概要		事業に着手する。 明点検を実施し、維	寺管理を行	う。		

藻場の保全

受益規模

配慮事項

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
58-2	海部灘	日和佐港海岸	大浜地区	国土 (港湾)	美波町	698	⑥海部灘ゾーン	環境重視







	N N
本 国民の宿うみがめ荘 国民の宿うみがめ荘 アカウミガメ上陸産卵地 マカウミガメ上陸産卵地 ウミガメの産卵地の保養 自然景観の保全 砂浜の保全 安全な水辺空間の提供	月、例(計画) 計画施設 (こ)配慮事項 関連計画
東海水政 ・ 東波対策としての護岸改良	月. 例(現況) 都市施設 住居 商業 工業 教育施設 農用地 レクリエーション 駐車場 道路・交通施設
100	通路 文 远远 放

	海岸整備の方向性
全体	防護面での対策が必要である。貴重な環境 (アカウミガメの産卵地 等) を有しており、特に海岸環境の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性や侵食等の可能性があり、対策を行う。
環境面	アカウミガメの産卵地、貴重な砂浜・礫浜、背後の松林、えびす洞(岩門)など優れた景観資源が一体となった大浜海岸特有の貴重な自然の保護・保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	環境学習・水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努め る。

防護項目			現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	В	侵食対策ランク B			
背後地ランク	В	既存保全施設	護岸・堤防、砂浜				
施設の健全度	風化・劣化	風化・劣化が顕著に見られる。					
海岸保全区域の 概況		兵海岸であり、背後に 出口として導流堤が彗			いる。日		
環境項目			現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	砂浜・護岸	<u> </u>			
自然関係法令	国定公園	· (海上:普通)、国际	· 它公園(陸	上:第1種)、乗り	入れ規制		
水質環境基準 (類型)	A 海岸漂着物対策 重点区域						
海域環境	藻場	干潟	_	サンゴ	_		
配慮すべき資源		去令、ウミガメ及びそ ミガメの上陸産卵への			制、自然		
利用項目			現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距離	500m以内				
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	良好						
海岸利用状況	環境学習	環境学習・水遊び					
地域からの要請	アカウミ	ガメの保護、護岸改良	Ę				
			計画概要				
計画概要	津波・高汐	朝対策として護岸のご	 皮等を行	う。			

ウミガメの産卵地の保護、自然景観の保全、砂浜の保護、安全な水辺 空間の提供

受益規模

配慮事項

約5ha

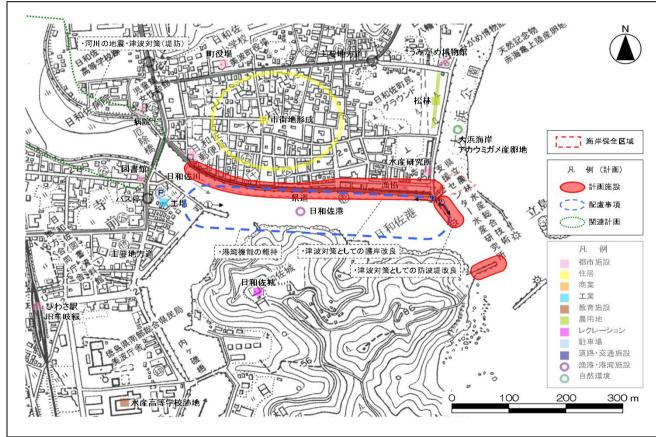
津波・高潮、高潮

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
58-3	海部灘	日和佐港海岸	戒地区	国土 (港湾)	美波町	570	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性
全体	防護面での対策が必要である。海岸景観の保全や漁港等の現状利用に 配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、河口部で閉鎖性 が強く、水質保全の観点から海水交換を妨げないように留意する。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目				現況特性			
津波対策ランク	A	高潮対策:	高潮対策ランク		侵食対策-	ランク	_
背後地ランク	В	既存保全旗	施設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化	・劣化が見	られる。				
海岸保全区域の 概況				る。漁港施 業集落であ			
環境項目				現況特性			
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	況	漁港護岸			
自然関係法令	国定公園	(海上:普	通)				
水質環境基準 (類型)	А	海岸漂着物 重点区域	物対策	•			
海域環境	藻場	_	干潟	_	_ サンゴ _		
配慮すべき資源	自然関係	去令					
利用項目				現況特性			
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距	雏	500m以内			
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	良好						
海岸利用状況	港湾	港湾					
地域からの要請	_	-					
				計画概要			
計画概要	津波・高汗	朝対策とし	て護岸のこ	收良等、防	波堤の補強	・ 食を行う。	•

津波・高潮、高潮

受益規模

配慮事項

約20ha

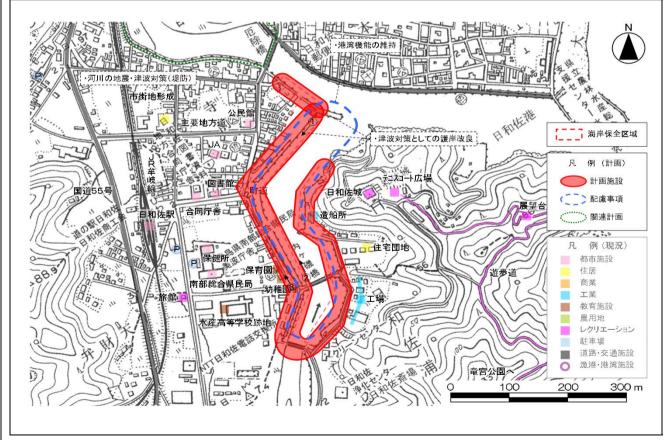
港湾機能の維持

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
58-4	海部灘	日和佐港海岸	弁財天地区	国土 (港湾)	美波町	1337	⑥海部灘ゾーン	防護重視









	海岸整備の方向性
全体	防護面での対策が必要である。港湾機能に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。また、漂 着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目		現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策	高潮対策ランク		侵食対策 [:]	ランク	-
背後地ランク	A	既存保全加	拖設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化	・劣化が見	られる。				
海岸保全区域の 概況		奥地に位置 用されてい		殆どが漁	港施設(物	物揚場、係	船岸壁)
環境項目				現況特性			
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	兄	漁港護岸			
自然関係法令	_	_					
水質環境基準 (類型)	А	海岸漂着物 重点区域	勿対策	•			
海域環境	藻場	_	干潟	_	サンゴ	-	_
配慮すべき資源	_						
利用項目				現況特性			
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距離	維	500m以内			
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	良好						
海岸利用状況	港湾						
地域からの要請	_						
				5.1 == lor ==			
				計画概要			

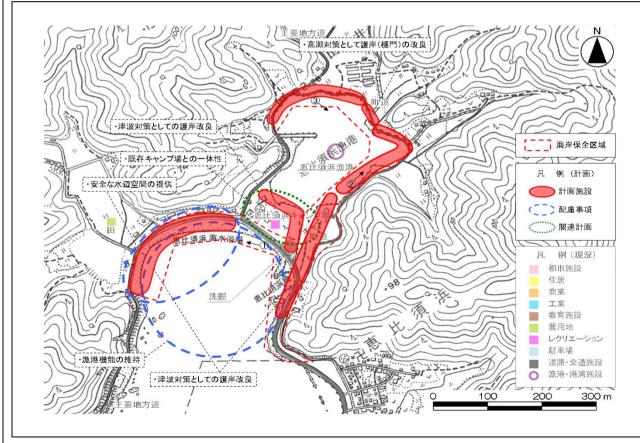
	計画概要					
計画概要	津波・高潮対策とし	て護岸の改良等を行	う。			
受益規模	約40ha 導入事業 津波・高潮、高潮					
配慮事項	港湾機能の維持					

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
59	海部灘	恵比須浜漁港海岸	-	農水 (水産)	美波町	2890	⑥海部灘ゾーン	利用促進









	海岸整備の方向性
全体	防護面での対策が必要である。特に、レクリエーション面での海岸利 用ニーズの高い地域であり、防護面の強化にあたっては海岸利用を促 進するための施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。なお、背後に 道路整備(バイパス)の計画があり、調整が必要である。
環境面	漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、漁港部は閉鎖性 が強く、水質保全の観点から海水交換を妨げないように留意する。
利用面	キャンプ場が隣接し、マリンスポーツ等の海岸利用が盛んであり、現 状利用の促進に努める。

n	TO YO 44-14.						
防護項目				現況特性			
津波対策ランク	A	高潮対策	高潮対策ランク		侵食対策	ランク	-
背後地ランク	В	既存保全旗	施設	護岸・堤防、砂浜			
施設の健全度	洗掘が見ら	られる。					
海岸保全区域の 概況			湾奥に位置である。				
環境項目				現況特性			
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	況	砂浜・護岸	ŧ		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種、第3種))		
水質環境基準 (類型)	А	海岸漂着物 重点区域	物対策	•			
海域環境	藻場	_	干潟	_	サンゴ	-	_
配慮すべき資源	自然関係	去令、多く	の汽水性魚	魚類が生息	しており酢	記慮が必要	
利用項目				現況特性			
利用配慮ランク	促進	幹線道路 からの距	雏	500m以内			
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	改善の必要性あり						
海岸利用状況	海水浴可・臨海キャンプ場						
地域からの要請	_			_			_

計画概要

津波・高潮、高潮

津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。

安全な水辺空間の提供、漁港機能の維持

導入事業

計画概要

受益規模

配慮事項

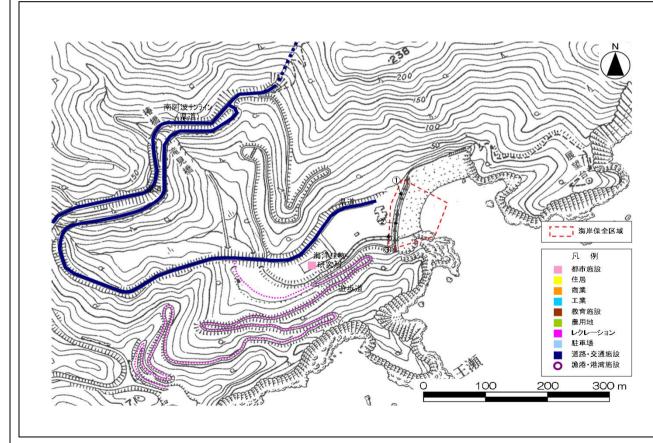
約10ha

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
60	海部灘	外牟井地先海岸	-	国土 (水管理)	美波町	150	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性
全体	防護面での問題はないが、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に 配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目				現況特性			
津波対策ランク	С	高潮対策ランク		С	侵食対策-	ランク	-
背後地ランク	D	既存保全法	施設	護岸・堤防・消波工			
施設の健全度	若干の劣化	ヒ・風化が	見られる。				
海岸保全区域の 概況			線の中に存 が整備され		ケットビー	-チの格好	を呈して
環境項目				現況特性			
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	兄	砂浜			
自然関係法令	国定公園 保護地区	(海上:普	通)、国际	E公園(陸	上:特別)	、鳥獣保	護区特別
水質環境基準 (類型)	A 海岸漂着物対策 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —						
海域環境	藻場	•	干潟	_	サンゴ	-	
配慮すべき資源	自然関係 卵への配	ま令、藻場 鬣(砂浜の	、ウミガ <i>;</i> 保全)	以 (現地確	認情報)、	ウミガメ	の上陸産
利用項目				現況特性			
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距	雏	隣接			
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	改良の必要	要性あり					
海岸利用状況	水遊び						
地域からの要請							
				-1			
				計画概要			
計画概要	定期点検	を実施し、	維持管理を	を行う。			

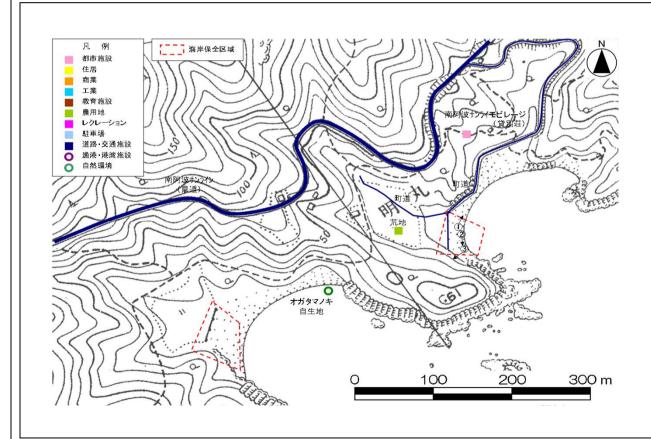
受益規模 配慮事項

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
61	海部灘	明丸地先海岸	-	国土 (水管理)	美波町	190	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、親水空間 の保全に配慮した施設の整備を図る。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ 等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目				現況特性			
津波対策ランク	A	高潮対策:	ランク	С	侵食対策:	ランク	_
背後地ランク	D	既存保全旗	既存保全施設		・護岸・堤	防・砂浜	
施設の健全度	若干の劣化	ヒ・風化が	見られる。				
海岸保全区域の 概況			砂浜が広が 茂している		。護岸は植	物に覆わ	れてお
環境項目				現況特性			
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	況	砂浜			
自然関係法令	国定公園(海上:普通)						
水質環境基準 (類型)	А	海岸漂着物 重点区域	物対策	•			
海域環境	藻場	•	干潟	_	サンゴ	-	_
配慮すべき資源	自然関係 卵への配		、ウミガ <i>></i> (保全)	く(現地確	認情報)、	ウミガメ	の上陸産
利用項目				現況特性			
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距	雏	2km以内			
アクセス道路	1車線						
海岸へのアプ ローチ	改良の必要性あり						
海岸利用状況	水遊び						
地域からの要請	_						

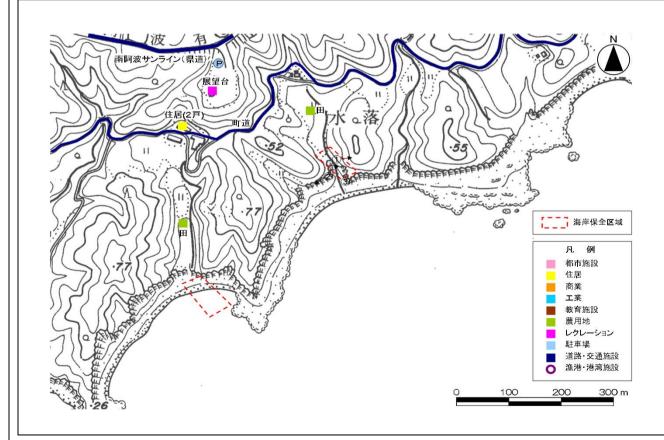
		計画概要					
計画概要	定期点検を実施し、	定期点検を実施し、維持管理を行う。					
受益規模	_	導入事業	_				
配慮事項	_						

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
62A	海部灘	浜辺地先海岸	_	国土 (水管理)	牟岐町	(540)	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性				
全体	防護面での問題はないが、藻場の保全に配慮しつつ、施設の維持管理 に努める。				
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。				
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ 等の清掃など海岸美化の推進を図る。				
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。 (厳しい地理条件からアクセスが困難である。)				

	l							
防護項目				現況特性				
津波対策ランク	С	高潮対策	ランク	С	侵食対策	ランク	_	
背後地ランク	D	既存保全加	施設	緩傾斜護	岸・砂浜			
施設の健全度	施設の健全	全度は特に	問題ない。					
海岸保全区域の 概況		是で老朽化 背後は殆ど		が、機能的 る。	に問題はな	いと考え	られる。	
環境項目				現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	兄	礫浜				
自然関係法令	_							
水質環境基準 (類型)	А	海岸漂着物 重点区域	物対策	•				
海域環境	藻場	•	干潟	_	サンゴ	-	_	
配慮すべき資源	藻場							
利用項目				現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路 からの距離	雏	2km以内				
アクセス道路	車でのアク	クセス困難	I					
海岸へのアプ ローチ	困難	困難						
海岸利用状況	なし	なし						
地域からの要請	_	-						
				計画概要				

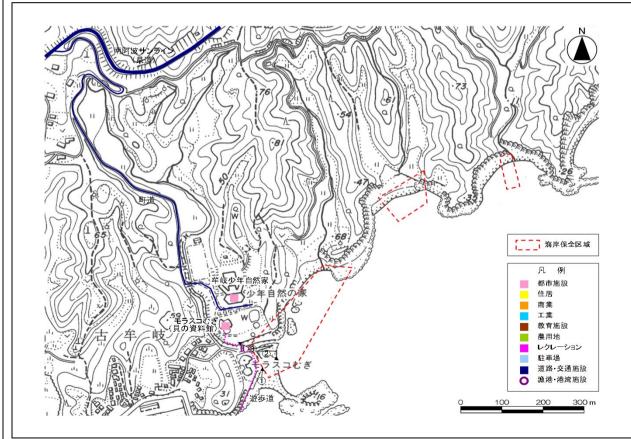
	計画概要					
計画概要	定期点検を実施し、	維持管理を行う。				
受益規模	_	導入事業	_			
配慮事項	_					

	No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
I	62B	海部灘	浜辺地先海岸	-	国土 (水管理)	牟岐町	(540)	⑥海部灘ゾーン	環境重視









	海岸整備の方向性
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境(アカウミガメの産卵地等)を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場・砂浜の保全に努めるとともに、漂 着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	青年自然の家が隣接し、環境学習やマリンスポーツ等の海岸利用が盛 んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目				現況特性				
津波対策ランク	В	高潮対策	ランク	С	侵食対策-	ランク	-	
背後地ランク	D	既存保全	施設	護岸・堤原	方			
施設の健全度	若干の劣化	ヒ・風化が	「見られる。					
海岸保全区域の 概況			:緩傾斜後岸 が整備され		ている。生	>年自然の	家の前面	
環境項目				現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	況	砂浜				
自然関係法令	国定公園	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)						
水質環境基準 (類型)	A 海岸漂着物対策 重点区域			•				
海域環境	藻場	•	干潟	_	サンゴ			
配慮すべき資源			ガメ産卵 全)、藻均		情報)、ウ	ラミガメの.	上陸産卵	
利用項目				現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路 からの距	雖	2km以内				
アクセス道路	2車線							
海岸へのアプ ローチ	良好							
海岸利用状況	青年自然流	青年自然海の家						
地域からの要請	観光・レク	現光・レクリエーション拠点の整備が望まれる。						
				計画概要				
計画概要	定期点検	を実施し、	維持管理る	を行う。				

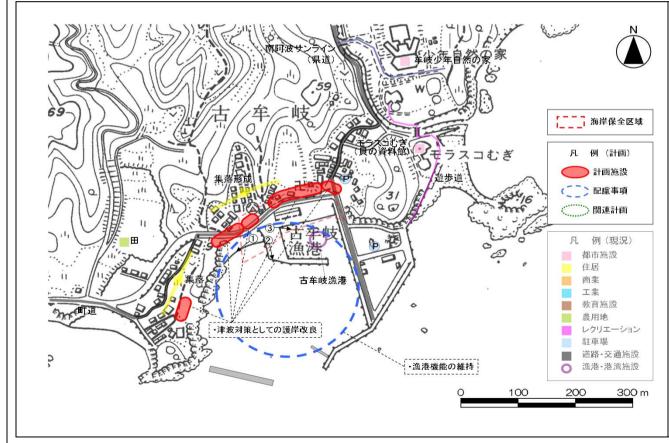
	計画概要					
計画概要	定期点検を実施し、	維持管理を行う。				
受益規模	_	導入事業	_			
配慮事項	_					

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
63-1	海部灘	牟岐漁港海岸	古牟岐地区	農水(水産)	牟岐町	301	⑥海部灘ゾーン	環境調和









	海岸整備の方向性
全体	防護面での対策が必要である。藻場・砂浜の保全や漁港等の現状利用 の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場・砂浜の保全に努めるとともに、漂 着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目				現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策-	ランク	С	侵食対策-	ランク	_	
背後地ランク	В	既存保全旗	施設	護岸・堤隙	方・離岸提	・護岸		
施設の健全度	施設の健全	全度は特に	問題ない。					
海岸保全区域の 概況	前面は漁港	巻施設とし	て利用され	ıており、	背後は漁業	集落であ	る。	
環境項目				現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	兄	漁港護岸				
自然関係法令	国定公園	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)						
水質環境基準 (類型)	A 海岸漂着物対策 重点区域			_				
海域環境	藻場	•	干潟		サンゴ	ı	_	
配慮すべき資源	自然関係沒	去令、ウミ	ガメ(現均	也確認情報)、藻場			
利用項目				現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路 からの距	雏	2km以内				
アクセス道路	1車線							
海岸へのアプ ローチ	良好							
海岸利用状況	漁港							
地域からの要請	観光・レク	観光・レクリエーション拠点の整備が望まれる。						
		計画概要						
計画概要	津波・高潮	朝対策とし	て護岸のこ	女良等を行	う。			

津波・高潮、高潮

受益規模

配慮事項

約3ha

漁港機能の維持